

54 文化・生涯学習・スポーツの振興

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』に基づき、区の魅力的な文化の掘り起こしや一流の音楽家・芸術家などによる本格イベントの開催など、文化芸術および生涯学習施策のさまざまな取組を進めている。

●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、地域の魅力を高めるため、区ならではの文化芸術事業を実施している。6年度は、つぎの事業を実施した。

- ・真夏の音楽会 vol. 7 大谷康子と楽しむ音楽の旅
-世界の鉄道めぐり-
- ・こどもアートアドベンチャー
- ・みどりの風 練馬薪能
- ・ねりまの森の音楽祭

●映像∞文化施策の推進

区では昭和初期から現在に至るまで実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っている。こうした状況を背景に、3年11月に「映像∞文化のまち構想」を策定し、区と映像のつながりや映画の魅力を伝える様々な事業を実施した。

1 映画上映会

ねりまの森の音楽祭と同日に映画上映会「ねりぶんシネマ day」を初開催し、音楽映画「太陽とボレロ」を上映した。

2 映像文化と教育の連携事業の実施

区内の小・中学校において、映像制作等の体験授業を実施している。6年度は14校で延べ18授業を実施した。

3 映像文化情報の発信

(1) ねりま映画サロンの配信

日本を代表する俳優による対談動画（第1～5弾）をオンライン配信した。

(2) ウェブサイト「映像∞文化のまちねりま」

上記対談動画やインタビュー、年表、コラムなど、練馬と映像文化の理解が深まる様々なコンテンツを公開した。

4 ねりま漫画サロンinゆめりあホールの実施



〔サイトメインビジュアル〕

多くの漫画家が在住している区の特徴を活かし、トークイベントやワークショップ、複製原画の展示など、区ゆかりの漫画家と連携したイベントを実施した。

●公益財団法人練馬区文化振興協会

豊かな区民文化の創造と多様な文化の発展に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立した。その後、平成24年4月に公益財団法人に移行し、28年度から、日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子氏を理事長に迎えた。

地域における自主的な文化芸術活動を促進し、また文化芸術の裾野を広げるため、区内文化団体への活動支援を行うとともに、区民に向けて情報を広く発信している。

練馬文化センター、大泉学園ホール、美術館および石神井公園ふるさと文化館の指定管理者として、魅力ある文化芸術事業の充実に取り組んでいる。

●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

6年度は、音楽・伝統芸能などの公演事業、区民の文化芸術活動・団体の支援などを引き続き実施した。

(11事業)

1 公演事業 6事業

(1) 音楽事業 3事業

- ①クラシックコンサート
- ②アトリウムミニステージ
- ③拠点コンサート

(2) 伝統文化事業 3事業

- ①能楽公演
- ②能楽講座
- ③小学校狂言師・能楽師派遣事業

2 区民の文化芸術活動・団体の支援に係る事業

5 事業

- (1) 演奏家等派遣事業
- (2) 舞台芸術支援事業 など

〔練馬文化センターの利用状況〕 6年度

	利用件数（件）（※）	入場者数（人）
大ホール	282	222,284
小ホール	266	80,952
ギャラリー	105	5,724
リハーサル室	983	29,650
集会室	445	8,166
計	2,081	346,776

※：延べ利用団体件数

●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル「ゆめりあ1」内に、平成14年2月に開館した。

〔大泉学園ホールの利用状況〕 6年度

	利用件数（件）（※）	入場者数（人）
ホール	497	46,296
ギャラリー	111	6,710
計	608	53,006

※：延べ利用団体件数

●練馬区立美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

美術館の再整備については、基本構想策定検討委員会の提言をもとに、区民意見反映制度に寄せられた意見等を踏まえ、4年3月に基本構想を策定した。公募型プロポーザル方式により選定された(株)平田晃久建築設計事務所の平田晃久氏による基本設計が6年1月に完了し、2月より実施設計に着手した。7年度中に併設の貫井図書館・美術の森緑地とあわせて再整備を開始する予定である。

1 展示事業

日本近現代美術を中心に、斬新な視点・切り口で開館以来様々な展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

〔企画展〕 6年度

展覧会名	会 期	観覧者数（人）
「三島喜美代－未来への記憶」展	5月19日～7月7日（43日間）	17,381
「平田晃久－人間の波打ちぎわ」展	7月28日～9月23日（50日間）	18,381
「追悼 野見山暁治 野っ原との契約」展	10月6日～12月25日（69日間）	10,552
「トーク・トーク40年のコレクションと展覧会」展	3月7日～3月30日（21日間）	1,993

2 教育普及事業

展覧会関連の企画を中心に各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象に学芸員が作品解説を行う「ティーチャーズデイ」の実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近現代の優れた美術作品を収集している。6年度末の全所蔵数（寄託含む）は7,703点である。

4 美術の森緑地

平成27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、平成22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」（区指定文化財）を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター76人が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。6年度は、分室を含め延べ209,916人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬区ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示などを行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか、幅広い視野からテーマを設定した特別展を6年度は2回開催した。

〔特別展〕		6年度
展覧会名	会 期	観覧者数 (人)
魔法の部屋 トリックアートの世界	4月13日 ～6月9日 (50日間)	20,682
大漫会の漫画家たち ー石神井公園の桜の木の下でー	9月14日 ～11月4日 (45日間)	4,874

(3) 企画展

収蔵資料などからテーマを決めた企画展を6年度は2回開催した。

〔企画展〕		6年度
展覧会名	会 期	観覧者数 (人)
子どもの頃に見た道具たち ーあなたが懐かしい道具は どれですか?ー	6月22日 ～8月12日 (45日間)	5,510
石神井ものがたり	1月18日 ～3月16日 (50日間)	8,380

(4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業などを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、さまざまなイベントを開催している。

3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、平成24年4月に名称を生涯学習センターと変更した。29年度に

は、生涯学習施設を生涯学習センター分館と向山庭園を合わせた3館体制とし、生涯学習センターを区の生涯学習の中核を担う施設とした。

地域活動を行う人材の基盤づくり、生涯学習を行う団体への支援、生涯学習に関する情報提供を中心とした事業を行っており、施設は区民の自主的な活動場所として利用されている。

1 地域活動を行う人材の基盤づくり

(1) 武蔵大学特別履修生制度

4月から翌年3月までの1年間、武蔵大学で大学生と一緒に授業を履修する制度である。ボランティア活動の経験者、「つながるカレッジねりま」または「練馬Enカレッジ」の受講生もしくは修了生を対象としている。履修料の一部を区と武蔵大学で負担する。6年度の履修生は23人だった。

2 生涯学習団体等の支援

(1) 生涯学習団体届出制度

芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等さまざまな分野で活動し、一定の要件を満たす団体を生涯学習団体として登録している。

団体の名簿を公開しており、新たな会員獲得による団体の活性化を支援している。6年度末現在、1,265団体が登録されている。

(2) 団体活動支援

区民文化祭、サークル文化祭、文化団体舞台発表促進事業等の文化活動団体の発表を支援するほか、趣味と仲間づくり講座「縁ジョイ倶楽部」を実施し、新たな会員募集の支援を行っている。

3 生涯学習情報の提供

(1) 区民発出前講座

さまざまな趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。6年度末現在で、44講座が登録されている。

(2) 学びと文化の情報サイト（あ・そ・ぶサイト）

学びに関する団体情報や区内で開催されるさまざまな催し等の最新情報を、区民が活動したいときや学びたいときに、いつでも得られるよう情報提供している。

〔各種事業実施状況〕 6年度

事業名	実施状況	
縁ジョイ倶楽部	15講座 延べ717人受講 講演会1回196人受講	
盆踊り講習会	2回 延べ153人受講	
練馬児童合唱団	在団生 61人 定期演奏会 1回 837人入場	
サークル文化祭	舞台発表会	2日 延べ522人受講
	作品展	3日 延べ900人受講
区民文化祭	参加団体 17団体 7,497人参加	
寿大学通信講座	書道・俳句2科目 延べ4,493人受講	
	スクーリング 5回 延べ114人受講	
	書初め展 1回 書道109点 俳句180句 出品	
公開講座	4大学 延べ675人受講	

〔生涯学習センターの利用状況〕 6年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
ホール	500	50,890
第一会議室	535	4,143
第二会議室	504	3,473
第一教室	820	12,842
第二教室	562	4,944
第三教室	628	6,500
和室（大）	600	4,466
和室（中）	397	2,964
和室（小）	529	2,598
美術工芸室	455	3,490
視聴覚室	749	11,168
調理実習室	159	1,369
陶芸室	163	459
保育室	319	1,566
合 計	6,920	110,872

〔生涯学習センター分館の利用状況〕 6年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
講座室 1	304	2,782
講座室 2	256	1,778
講座室 3	427	2,604
講座室 4	424	3,278
講座室 5	451	5,310
講座室 6	487	2,750
講座室 7	238	1,445
講座室 8（※）	－	－
講座室 9（※）	－	－
和 室（※）	35	203
料理室	9	44
工作室	316	2,582
美術室	427	3,108
音楽室 1	750	8,758
音楽室 2	660	4,472
陶芸室	707	2,764
保育室（※）	4	43
合 計	5,495	41,921

注：学習室利用人数…5,821人
※：区事業で利用のため、講座室8・9は6年4月1日から7年3月31日まで、和室、保育室は6年8月31日まで貸出を休止

●向山庭園

庭園を有する和風の施設である。文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所としてだけでなく、会議や学習の会場としても、広く区民に親しまれている。

平成30年度からは、春に観桜会、秋に観楓会として、コンサート・茶会・いけ花の展示などのイベントを行っている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園している。

〔向山庭園の利用状況〕 6年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
茶 室	640	2,684
和室（第1）	640	2,895
和室（第2）	701	3,269
和室（第3）	539	3,949
多目的室	650	3,358
日本庭園	22	40
庭園見学者	－	55,276
計	3,192	71,471

●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。

- ・校庭開放
- ・学校図書館開放
- ・教室開放
- ・学校体育館開放

●学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民が一般利用できる。

利用できる施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

(2) 読書活動を支援する

【関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会】

●図書館

地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しをはじめ、行政情報や地域情報を発信するとともに、区民の読書活動の普及・啓発のため、さまざまな事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、4年11月に策定した「これからの図書館構想」により、図書館運営の基本理念を「世界につながる 彩り豊かな 知の情報拠点」とし、サービスの充実を図っている。

なお、貫井図書館は、7年度中に併設の練馬区立美術館・美術の森緑地とあわせて再整備を開始する予定である。

1 施設の概要

(1) 図書館（12館）

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稻荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

(2) 分室（1分室）

南大泉図書館分室（こどもと本のひろば）

乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと、その保護者を対象としている。

(3) 図書館資料受取窓口（6所）

高野台（生涯学習センター分館内）、豊玉（豊玉リサイクルセンター内）、石神井公園駅（西武

池袋線高架下）、大泉学園駅（リズモ大泉学園4階）、北町（北町地区区民館内）、上石神井（上石神井南地域集会所内）に設置している。

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる（高野台を除く。）。

2 利用の促進

「東京都公立図書館調査（6年度）」によると、図書館資料の個人貸出点数および、個人予約点数は23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。加えて、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しも行っている。

また、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録をつけることができる読書ノートを配布している。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型イベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催し、一部をYouTube練馬区立図書館公式チャンネルで公開している。

3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけることができるよう「練馬区子ども読書活動推進計画（第五次）」を7年3月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整えるため、さまざまな取組を進めている。

(1) 事業

・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会

・ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合えるよう、絵本を手渡す事業

6年度 3,502セット配付

・本の探検ラリー

クイズを解きながらさまざまな本と出会い、親しむことができる参加型イベント

(2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

・ボランティアへの講習会の実施

・ボランティア団体との協働

・地域文庫の活動への助成

6年度 15団体 681冊

〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 6年度

催し名	実施数	参加者数（人）
よみきかせ・おはなし会	1,106回	14,668
おたのしみ会	22 回	663
子ども読書の日・こどもの読書週間記念行事	25 回	1,428
本の探検ラリー（小・中学校開催）	延べ 42 校	4,226

4 学校支援

小・中学校への団体貸出し、「ブックトーク」（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や「本の探検ラリー」、図書館見学・職場体験の受入れなどを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

- ・各校の学校図書館運営計画に基づく、学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

5 障害のある人へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出すサービスを行っている。

そのほか、乳幼児や障害児向けの布の絵本の制作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

〔サービスの状況〕 6年度

項 目	点数等	
製作録音資料数	128点	
対面朗読実施時間	延べ 1,444時間	
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出数	6,792点	
布の絵本制作数	40点	
講習会名	実施数（回）	参加者数（人）
音訳者養成等講習会	13	延べ 160
布の絵本制作講習会	4	延べ 44

6 図書館情報システム

図書館資料の貸出し・返却・予約などの基本的な業務を管理するシステムで、年間約620万点の資料貸出しに対応している。

また、利用者の利便性を高めるため資料検索機や家庭用パソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の取置き通知サービス等を実施している。

〔予約状況〕 6年度

項 目	点数等
予約点数（個人）	2,176,395点
うちインターネットからの予約	1,926,775点
予約点数に占めるインターネット予約割合	88.5%

7 電子図書館

7年1月からオンラインで電子書籍の貸出や閲覧ができる「ねりま電子図書館」を開始した。電子図書館では、時間や場所の制限がないだけでなく、文字の拡大や、一部には文書読み上げ、色反転が可能な電子書籍があり、高齢者や障害がある人への読書機会の拡大が期待できる。

〔電子書籍導入状況〕 6年度

項 目	点数等
電子書籍コンテンツ数	3,694点
貸出回数	9,576回

注：集計期間は7年1月14日から3月31日まで。

〔図書館の利用状況等〕

6年度

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数(点)			貸出予約数(点)		
					個人貸出	団体貸出	協力貸出	個人貸出	団体貸出	協力貸出
光が丘		38,112	180	610,999	989,164	13,002	3,186	290,076	871	1,614
練馬		24,673	151	396,317	546,148	11,832	357	193,952	2,577	377
石神井		22,114	100	298,730	564,288	15,003	878	126,453	4,868	914
平和台		14,244	150	218,620	439,519	11,483	467	134,705	2,215	487
大泉		14,297	142	243,468	413,635	15,380	538	111,323	10,392	558
関町		14,879	149	260,185	440,712	8,767	245	158,101	1,573	286
貫井		19,502	73	613,530	535,663	8,960	339	190,356	2,897	361
稲荷山		5,525	105	97,823	172,122	12,860	254	44,906	1,136	254
小竹		10,611	77	200,990	363,823	8,458	169	136,224	4,087	184
南大泉		8,050	82	175,612	319,315	3,112	101	95,267	1,358	105
南大泉分室		3,559	19	49,436	114,253	1,200	6	27,785	6	7
春日町		11,622	113	328,289	428,934	9,448	172	137,283	1,066	181
南田中		7,065	110	168,833	286,068	6,635	167	83,084	52	178
全館合計		194,253	1,451	3,662,832	5,613,644	126,140	6,879	1,729,515	33,098	5,506
高野台受取窓口		653	—	13,599	40,677	—	—	34,960	—	—
豊玉受取窓口		880	—	24,498	64,450	—	—	53,715	—	—
石神井公園駅受取窓口		3,526	—	74,461	175,954	—	—	148,092	—	—
大泉学園駅受取窓口		4,726	—	61,100	156,465	—	—	129,845	—	—
北町受取窓口		947	—	15,538	39,195	—	—	34,670	—	—
上石神井受取窓口		1,295	—	19,858	54,825	—	—	45,598	—	—
合 計		206,280	1,451	3,871,886	6,145,210	126,140	6,879	2,176,395	33,098	5,506

〔図書館の所蔵資料〕

6年度末現在

館名	種別	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害 者用資料 (点)
光が丘		334,191	12,928	21,973	6,399
練馬		149,058	3,094	11,710	1,159
石神井		227,473	2,771	7,982	—
平和台		166,150	3,573	8,300	—
大泉		221,047	3,382	8,373	—
関町		154,903	6,310	7,141	—
貫井		131,321	4,107	7,331	—
稲荷山		91,116	3,225	4,467	—
小竹		84,863	2,322	7,910	—
南大泉		69,372	1,977	4,720	—
南大泉分室		27,181	253	—	—
春日町		114,250	2,631	9,157	—
南田中		106,336	2,261	6,243	—
合 計		1,877,261	48,834	105,307	7,558

(3) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の文化財が多数ある。

文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された「練馬区文化財保護条例」に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。6年度は新規の指定が1件、登録解除が1件であった。(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の240～241ページを参照)



〔三宝寺山門〕

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅の恐れがある場合は、事前に発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

6年度は遺跡地で工事を行う届出が133件、通知が5件あり、遺跡の有無を確認するための試掘・立会調査が101件、発掘調査が3件あった。

出土品の一部は、生涯学習センター分館などに展示している。

2 東京文化財ウィーク参加事業

都の呼びかけによる「東京文化財ウィーク」は、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。6年度は10月26日から11月4日までの10日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

・おさき尾崎遺跡の展示説明会（10月26日 15人参加）

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

・石神井城跡発掘パネル展（11月2日～11月4日）

・特別公開「小野蘭山墓誌」（10月26日～11月4日）

3 刊行物の発行

6年度はつぎの刊行物を発行した。

・ねりまの文化財（年2回）

・埋蔵文化財調査報告39 2023年度（令和5年度）

4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。総数は179件で、6年度は既に設置された説明板の修繕9件を実施した。また、道標は29か所に設置している。

5 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努めている。6年度は、石神井公園ふるさと文化館で一斉放水等の訓練を行った。

6 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演を開催している。6年度は、7年2月16日に開催し、祭囃子連が3団体出演した。

●文化財保護推進員

文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

おさき

●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約200点を展示している。

(4) 区民のスポーツ活動を支援する

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。

6年度は、平和台体育館、光が丘体育館の自動火災報知設備改修工事、大泉さくら運動公園のナイター照明制御盤交換工事および石神井松の風文化公園のテニスコート（ハード）クラック補修工事等を行った。

6年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール6か所、成人野球場5面、少年野球場5面、庭球場29面、多目的運動場6面、競技場1面、多目的広場4か所、スポーツ広場1か所である。

●スポーツの機会の充実

みど리の中で誰もがスポーツを楽しめるまちを目指し、スポーツ施設を積極的に整備してきた。

これらの施設では、地域のスポーツ団体をはじめ、区民の活発なスポーツ活動が行われている。こうしたスポーツ団体との協働により、区民スポーツ大会、練馬こぼしハーフマラソンといったイベントや初心者スポーツ教室などを実施している。

〔屋外施設の利用状況〕

6年度

区 分	施設名（面）	利用数（人）
庭球場	豊玉中公園庭球場	3 24,847
	びくに公園庭球場	2 5,875
	土支田庭球場	7 40,646
	夏の雲公園庭球場	4 41,821
	大泉さくら運動公園庭球場	3 19,040
	大泉学園町希望が丘公園庭球場	3 25,745
	石神井松の風文化公園庭球場	7 49,230
成人 野球場	学田公園野球場	1 10,901
	北大泉野球場	2 12,829
	東台野球場	2 22,891
少年 野球場	練馬総合運動場少年野球場	2 34,656
	荒川河川敷野球場（硬式少年野球）	3 36,431
運動場等	練馬総合運動場公園（陸上競技場・多目的広場）	92,804
	大泉運動場	44,389
	大泉さくら運動公園多目的運動場	92,560
	大泉学園町希望が丘公園多目的運動場	55,018
	石神井松の風文化公園多目的広場	24,015
	びくに公園多目的広場	24,374
	総合体育館東側多目的広場	682

〔体育館の利用状況〕

（単位：人） 6年度

施設名 区分	総合体育館	桜台体育館	上石神井体育館	平和台体育館（※1）	大泉学園町 体育館	光が丘体育館（※2）	中村南スポーツ 交流センター
個人利用	39,734	9,030	49,127	43,669	44,377	27,410	32,224
登録団体利用	38,191	21,655	24,924	19,469	16,268	14,697	16,744
連盟・SSC	24,085	3,664	7,849	26,578	16,046	23,995	20,277
大会・事業等	19,242	5,409	5,447	3,804	3,314	14,636	630
自主事業	—	—	6,829	2,719	7,406	9,972	30,522
健康体力相談等	—	—	—	—	—	193	—
トレーニング室	35,493	—	38,664	24,352	43,259	58,037	49,170
合 計	156,745	39,758	132,840	120,591	130,670	148,940	149,567

注：トレーニング室には説明会参加者を含む。

※1：平和台体育館は、改修工事のため7年1月11日から2月28日まで休館

※2：光が丘体育館は、改修工事のため6年11月5日から12月23日まで休館

※3：光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

〔プールの利用状況〕

（単位：人） 6年度

施設名 区分	上石神井体育館 温水プール	平和台体育館 温水プール （※1）	大泉学園町 体育館温水 プール	光が丘体育館 温水プール （※2）	中村南スポーツ 交流センター 温水プール	三原台 温水プール	石神井プール
個人利用	68,904	65,426	56,447	89,064	120,547	71,166	41,869
登録団体利用	6,308	1,926	4,877	4,782	3,135	13,323	—
連盟・SSC	1,490	4,408	9,985	1,695	14,841	4,205	—
大会・事業等	2,751	46	549	3,365	997	721	—
自主事業	3,667	3,910	—	1,077	6,055	4,441	—
障害者専用コース	1,027	664	1,521	746	837	778	—
合 計	84,147	76,380	73,379	100,729	146,412	94,634	41,869

※1：平和台体育館温水プールは、改修工事のため7年1月11日から2月28日まで休場

※2：光が丘体育館温水プールは、改修工事のため6年11月5日から12月23日まで休場

〔スポーツ事業〕

6年度

区 分		内容および参加人数 (人)	
各種大会	区民スポーツ大会	37種目 総合開会式	18,175 520
	東京都スポーツ大会	30種目	471
	スポーツフェスティバル東京	13種目	120
	城北地区競技会	5種目	243
	女性スポーツ大会	3種目	862
	都民スポレクふれあい大会	1種目	11
	城西ブロックスポーツ交流大会	5種目	728
	練馬区ボッチャ交流大会2024	8月28日 光が丘体育館	145
	練馬区ボッチャ大会2024 (個人戦)	一般部門 1月19日 小中学生部門 1月26日 光が丘体育館	24 18
	区民歩行会	12月1日 吾妻峡～ハツ場ダム	37
野外活動	親子アウトドア体験	2月15日 光が丘公園	10
	初心者スポーツ教室	30種目66教室	4,379
夏休み水泳教室		2校	59
スポーツ・レクリエーション教室		6月23日、7月7日 大泉特別支援学校	80
少年少女スポーツふれあいひろば		2月15日実施	176
スポーツの日記念行事		10月14日実施 光が丘体育館ほか5会場	9,632

●地域スポーツ指導者の育成

スポーツ実施率を更に高めるため、多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者等の育成に努めている。

1 スポーツ推進委員

区内でのスポーツ推進のため、スポーツ事業の実施に係る連絡調整やスポーツに関する指導と助言等を行っている。6年度末現在、16人のスポーツ推進委員が活動している。

区民歩行会や小学生を対象としたアウトドア事業など、さまざまなイベントの実施を通して、区民にスポーツをする楽しさを伝え、参加へつなげている。また、区内スポーツ関係団体が連携して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や、パラスポーツに係る取組も行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。6年度末現在、469人が認定を受けている。

●総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ (SSC) は、地域の人々を中心となって運営し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる点に特色がある。

6年度末現在、7つのクラブが区立体育館に活動拠点を設け、会員制による運営を行っている。

〔総合型地域スポーツクラブ (SSC)〕

6年度

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 (人)
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年8月24日	18,168
NPO法人スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	平成14年9月5日	4,644
NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	9,479
NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台 (SSC平和台)	平成14年10月4日	22,433
NPO法人光が丘総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年9月10日	9,043
NPO法人コミュニティネットSSC大泉 (SSC大泉)	平成14年8月13日	41,098
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブクラブブラッツ (SSC豊玉・中村)	平成21年2月21日	19,644

●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力の更なる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、平成26年度から30年度まで毎年実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、元年度から3年度まで開催を中止した。4年度から再開し、6年度は第8回大会として、「練馬こぶしハーフマラソン2025」を7年3月23日に開催した。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。



〔練馬こぶしハーフマラソン ロゴ〕
区の木である「こぶし」の花がデザインされている。

〔開催状況〕

ハーフマラソン種目

	開催日	開催時天気	エントリー数	当日出走者数	完走者数 (完走率)
第4回	30.3.25	晴	5,423人	4,807人	4,510人 (93.8%)
第5回	31.3.24	晴	5,433人	4,764人	4,512人 (94.7%)
第6回	5.3.26	雨	5,442人	4,361人	4,182人 (95.9%)
第7回	6.3.24	曇り	5,317人	4,672人	4,554人 (97.5%)
第8回	7.3.23	晴	5,337人	4,734人	4,507人 (95.2%)

マイルラン種目

	エントリー数		当日出走者数	
	中学生 の部(※)	小学生と ペアの部	中学生 の部(※)	小学生と ペアの部
第4回	100人	296組 592人	83人	269組 538人
第5回	58人	342組 684人	53人	303組 606人
第6回	—	445組 890人	—	328組 656人
第7回	—	379組 758人	—	349組 698人
第8回	—	447組 894人	—	408組 816人

※：第6回から中学生の部は廃止

●世界陸上およびデフリンピック開催を見据えた取組

7年9月に世界陸上競技選手権大会、11月にデフリンピックが東京で開催されるため、大会への興味・関心を深めてもらえるような取組を行っている。

6年度は、「練馬区障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例」を周知するために作成した動画において、デフアスリートがデフリンピックを紹介した。また、7年2月にはデフサッカー選手による講演会、3月の「練馬こぼしハーフマラソン2025」では、東京2025デフリンピックへの出場を目指す2人のデフアスリートによるトークショーを行った。

そのほか、スポーツ・レクリエーション教室、ユニバーサルスポーツチャレンジなどの開催時に、デフリンピックに関する記事が掲載されたスポーツ情報紙「ねりすば」の配布やデフリンピック紹介コーナーの設置、ピンバッチの配布などを行った。

7年10月の「（仮称）ねりまスポーツひろば」では、デフリンピックの機運醸成企画として、満天の星のように夜空を飾るランタンイベント等を開催する。